

令和8年度 音楽実技研修（和太鼓） 実施要項

- 1 目的 和太鼓の演奏法について専門的な知識や技術を習得するとともに、実際の授業における指導の工夫について理解を深め、我が国や郷土の伝統音楽に関する実践的な指導力の向上を図る。
- 2 対象 小・中学校（義務教育学校を含む）、高等学校、支援学校の教員

募集人数 20名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	8月25日（火） 14:00～17:00	和太鼓の演奏法の基礎 和太鼓の指導の工夫 [実習]	大阪府教育センター 指導主事等 府立学校教員等

- 4 会場 府立西浦支援学校（羽曳野市西浦2丁目1797番）

近鉄南大阪線「古市」駅下車、南へ約1,200m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - (3) 研修会場に、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - (4) (受講決定後～当日) Plantで、事前連絡や課題等がないか確認すること。
 - (5) 問い合わせ等は、大阪府教育センター高等学校教育推進室（06-6692-1882）まで行うこと。
- 6 担当室 高等学校教育推進室

令和8年度 音楽実技研修（和太鼓） シラバス

1 目的

和太鼓の演奏法について専門的な知識や技術を習得するとともに、実際の授業における指導の工夫について理解を深め、我が国や郷土の伝統音楽に関する実践的な指導力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期										○	○	○			
第2期										○	○	○			
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	和太鼓の演奏法の基礎	和太鼓の基礎的な演奏法を身に付ける。	和太鼓の管理や準備の方法について学ぶとともに、基礎的な演奏法を習得したうえで、楽曲を演奏する。	準備物 運動のできる服装、体育館シューズ等の滑りにくい履物（スリッパ不可）、飲料水、タオル
	和太鼓の指導の工夫	和太鼓の指導の在り方について理解を深める。	音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、それらの働きの関わりについて考えることができる授業づくりに関して、指導する際の課題や指導方法を考える。	